

温室効果ガス排出量検証報告書

中外製薬株式会社 御中



BUREAU
VERITAS

2018年4月27日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、「アニュアルレポート 2017」において中外製薬株式会社(以下、中外製薬)により報告される2017年度の温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

中外製薬はビューローベリタスに対し、2017年1月1日から2017年12月31日の期間における、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

- 1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量
 - ・中外製薬及び国内連結子会社6社(*1)の事業活動に伴うエネルギー起源CO₂排出量
 - ・中外製薬及び国内連結子会社4社(*2)の事業活動に伴うフロン類等(*3)排出量
- 2) スコープ3 温室効果ガス排出量(GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standardに基づく)
 - ・カテゴリ5 排出量 - 中外製薬及び国内連結子会社6社(*1)の事業活動から排出された産業廃棄物の処分と処理に伴う温室効果ガス排出量
 - ・カテゴリ6 排出量 - 中外製薬及び国内連結子会社3社(*4)における航空機を利用した出張に伴う温室効果ガス排出量

(*1) 中外製薬工業(株)、(株)中外臨床研究センター、(株)中外医科学研究所、(株)シービーエス、中外物流(株)、(株)未来創薬研究所

(*2) 中外製薬工業(株)、(株)中外医科学研究所、中外物流(株)、(株)未来創薬研究所

(*3) 中外製薬が選択した「CFC, HCFC, HFC, PFC, その他のガス」に限る。

(*4) 中外製薬工業(株)、(株)中外臨床研究センター、(株)シービーエス

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のある中外製薬の関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、中外製薬の情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証活動及びプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・中外製薬が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ1 46,032 t-CO ₂ e	スコープ2(ロケーション基準) 54,999 t-CO ₂ e	スコープ3 5,037 t-CO ₂ e

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリ5: 1,087 t-CO₂e | カテゴリ6: 3,950 t-CO₂e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に180年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、中外製薬とのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。